

東海大学医学部付属病院にて

2010年1月1日から2025年12月31日までの間に、婦人科悪性腫瘍（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣・卵管・腹膜がん、外陰癌、子宮肉腫）の治療中および経過観察中に、脳転移と診断された患者さんおよびそのご家族の方へ生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院産婦人科では、上記のご病気で入院・通院・手術・検査された患者さんの診療記録に記載された情報を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：2010年1月1日から2025年12月31日の間に、当院産婦人科において婦人科悪性腫瘍（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣・卵管・腹膜がん、外陰癌、子宮肉腫）と診断され、その治療中または経過中に脳転移と診断された方

研究課題名：婦人科悪性腫瘍脳転移症例における予後因子および予後予測スコアの臨床的有用性に関する探索的検討

倫理審査番号：25R197

研究期間：【許可日】～2028年3月31日

26 326

【本研究の目的・意義】

本研究では、婦人科がんと診断され、その経過中に脳転移を認めた患者さんを対象として、治療内容やその後の経過について診療録をもとに調べます。

脳転移を発症した場合の予後に関係する要因や、現在用いられている予後予測スコアがどの程度役立つかを検討することで、今後同様の患者さんに対する治療方針の決定や説明の充実につながることを期待されます。

【使用する試料・情報の例】

- ・ 診断時年齢
- ・ 原発となった婦人科がんの種類
- ・ 臨床進行期
- ・ これまでの治療歴および治療内容

【脳転移に関する情報】

- ・脳転移の診断日
- ・脳転移の個数（単発／多発）
- ・転移部位
- ・腫瘍の大きさ（評価可能な場合）
- ・脳以外の転移の有無
- ・原発巣の制御状況
- ・Performance Status（全身状態の指標）
- ・RPA 分類、GPA スコア（脳転移のある患者さんの病状や予後（今後の経過の見通し）を評価するために、過去の研究で広く用いられている評価方法）
- ・脳転移に対する治療（手術、放射線治療、全身治療）
- ・治療介入の有無
- ・最終生存確認日
- ・生存状況
- ・脳転移診断後の生存期間

※ 本研究のために新たな検査、採血、追加治療、アンケート調査等を行うことはありません。

[個人情報の取り扱い]

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

[情報の開示について]

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

[研究資金・利益相反について]

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

[研究組織]

研究機関名：東海大学医学部

研究責任者所属・氏名：専門診療学系産婦人科学・野村弘行

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

[お問い合わせ先]

東海大学医学部付属病院

電話：0463-93-1121（代表） 内線：2381

研究責任者：産婦人科 野村弘行

担当者：産婦人科 矢坂 美和

[更新履歴]

2026 年 3 月 1 日 第 1 版